

第 9 9 回経営協議会議事要旨

日 時 令和 6 年 1 1 月 2 1 日（木） 1 0 時 0 0 分～1 1 時 2 8 分
場 所 本部 4 階大会議室（Teams による遠隔会議併用）
出席者 学内委員：上田学長，荒木理事，秋光理事，野口理事，真鍋理事，国分理事
学外委員：金子委員，木下委員，佐伯委員，西原委員，藤岡委員，山本委員
欠席者 学内委員：なし
学外委員：綾田委員
陪席者 山神副学長，小方副学長，吉田副学長，松木副学長，原副学長，和田副学長，
門脇副学長
頼富監事

1. 審議事項

（1）国立大学法人香川大学職員就業規則等の一部改正について

真鍋理事から，審議資料 1 に基づき，国立大学法人香川大学職員就業規則等の一部改正について説明があり，審議の結果，原案を承認した。

2. 報告事項

（1）令和 6 年 1 1 月以降の新体制について

学長から，報告資料 1 に基づき，令和 6 年 1 1 月以降の新体制について報告があった。

（2）令和 6 年度医学部附属病院の経営状況について

門脇副学長から，報告資料 2 に基づき，令和 6 年度医学部附属病院の経営状況について報告があった。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

○保険診療外収入である人間ドック検診にゲノム検査等のオプションを付ける等をして，受診率を上げるために，もっと大々的に PR を行い，収入増を図っていただきたい。

○財政再建のための取り組みにおいて，病院の能力の具体化と，それに対する予算決定や目標値も含めて，定量化して目標化することを進めていただきたい。

○様々な機器の保守費の削減を進めていただきたい。

○令和 7 年度予算編成において，ある程度実現可能な手術件数の増加を考慮していただきたい。

3. その他

(1) 中期的な検討課題について

学長から、資料1に基づき、本学の財務状況と今後の対応策及び中期的な検討課題について説明があった。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

○「地方国立大学が魅力を増していく」ということが、今後は非常に重要になる。授業料を仮に値上げした場合に、志願倍率が下がる可能性もあることから、志願倍率を上げる方策について、専門的な組織を巻き込んで、なるべく早く具体的に検討していただきたい。

○「持続可能な大学運営を目指していく」ということが、今後は非常に重要になる。その観点で言うと、一つは、現実的な観点から見た収入をもって支出を抑えていくということを、地道に続けていくことがどうしても必要に為らざるを得ないのではないか。もう一つは、中長期的な論点から見て、18歳人口の減少のスピードを踏まえると、大学もある程度スリム化して行かざるを得ないのではないか。その点に関して、議論を進め、構想を練っていただきたい。

○「薬学系の教育・研究における国私立大学の連携可能性」について、他大学と連携して、地域における課題等を解決していくことによって、魅力が増していくのではないかと思うので、是非、進めていただきたい。また、学部間との連携、各大学との連携という中で、どういう特徴で魅力を増やすのかということについて、議論を進めていただきたい。

以 上